平成26年度

事　業　計　画　書

横浜市飯島コミュニティハウス

特定非営利活動法人
さかえ区民活動支援協会

(1) 運営団体に関すること
ア 運営団体の概要
イ 経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
ウ 運営団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

(1) 運営団体に関すること
ア 運営団体の概要
イ 経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
ウ 団体が行った公運営の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 運営団体の概要

特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会（平成２１年９月設立）は、地域のコミュニティ、文化・スポーツ活動して、地区センターやコミュニティハウス・こどもログハウスなどの管理運営を行い、地域の様々な活動を支援してき地区センターやコミュニティハウスで実施する自主講座などから新たなグループが数多く誕生しており、生きがいづく保全などの課題に主体的に取組んだり地域の歴史を学び郷土愛を育む契機にするなど様々な活動が行われています。

イ 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

〈経営方針〉

① 区民が気軽に快適に安心して利用できる施設運営を行い、利用者サービスの向上に努めます。
② 区民の自主的活動の支援、相互交流を深めることにより、地域コミュニティを醸成し地域力の向上が図組みを進めます。
③ 区役所と協働し行政情報のＰＲや行政サービスの提供に努めます。
④ 脱温暖化（ＣＯ－ＤＯ３０）・Ｇ３０を意識した取り組みを進めます。
⑤ 経費の節減を図り効率的な運営に努めます。

〈業務概要〉

本郷地区センター・豊田地区センター・上郷地区センターのほかコミュニティハウス（４）・老人福祉センター横浜市桂山公園こどもログハウスの９施設の一体的な管理運営を行っています。

平成２３年度には約４５万６，０００人の利用がありました。

また、横浜市栄公会堂・スポーツセンターを公益社団法人横浜市体育協会と共同で運営管理を行っています。

〈主要業務〉

① 施設の管理運営
② 自主事業などの実施による区民の活動支援・生涯学習活動の支援・地域交流の推進

ウ 運営団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

① ３地区センター利用者数　２７万 9,000 人（平成２４年度実績）
稼働率　５９・５％（横浜市平均５２・４％）１８区中３位
② 運営管理している施設の総数９施設

現在管理運営している主な施設名	所在都道府県市区名	業務開始年月	業　務　区　分
横浜市本郷地区センター	横浜市栄区桂町 301	平成 7 年 4 月 1 日	施設の管理運営
横浜市豊田地区センター	横浜市栄区飯島町 1368-1	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市上郷地区センター	横浜市栄区上郷町 1173-5	平成 18 年 5 月 1 日	
上郷矢沢コミュニティハウス	横浜市栄区桂台南 2-34-2	平成 25 年 3 月 11 日	
本郷小学校コミュニティハウス	横浜市栄区中野町 16-1	平成 7 年 4 月 1 日	
庄戸中学校コミュニティハウス	横浜市栄区庄戸 3-1-1	平成 9 年 4 月 19 日	
横浜市飯島コミュニティハウス	横浜市栄区飯島町 1863-5	平成 19 年 5 月 1 日	
老人福祉センター横浜市翠風荘	横浜市栄区野七里 2-21-1	平成 18 年 4 月 1 日	
横浜市桂山公園こどもログハウス	横浜市栄区桂台中 16-1	平成 7 年 4 月 1 日	

（2） 施設の運営計画
ア 設置理念を実現する運営内容
イ 利用促進策

ア 設置理念を実現する運営内容

＊区民の自主的な活動を支援します，相互交流の活性化を支援します

地域の身近な施設として利用者、町内会・自治会・関係団体と「顔の見える関係」を維持しながら今後も運営してまいります。これを基盤として、区民の相互交流・地域交流を活性化するために「自主事業」に取り組んだり，利用者が施設を活用して，区の基本目標である「みんなが主役の元気なまちづくり」に貢献します。

＊PRの内容・方法を研究して、質を高めます。

＊新旧住民が交流し，若者から高齢者までの幅広い年代層が交流できる施設運営を目指します。

自主事業参加者がサークルを結成し自立した活動を実施できるなど利用団体の育成・支援を引き続き行うことにより，地域コミュニティの醸成・世代間交流の促進を図り，「みんなが主役の元気なまちづくり」を目指します。

イ 利用促進策

＊利用者満足度の向上

委員会や現在活動しているサークルを含めた全ての利用者の意見を参考に、利用者ニーズを反映した取り組みを進め，利用者満足度の向上へつなげていきます。また、職員は子どもを含むすべての利用者に「笑顔であいさつ」を実行し，利用者の立場に立った親切で明るい接遇に努めます。

＊ 子ども・子育て世代と高齢者に配慮した自主事業の取組

飯島コミュニティハウスの利用者の３分の１は小学生、中学生までの子どもたちの利用者が約半数を占めています。放課後、キッズコーナーで遊ぶ子どもたちで賑わいます。近隣の西本郷小学校と飯島小学校の２年生の総合学習の時間「町のたんけん」で訪問見学を受け入れ、地域で「安全で安心して友達と遊べる場」としてて認知度が上がり、リピーターが増えています。

また、オセロやトランプやウノなどのゲーム、ジグソーパズルなどの遊具に加えて、ジェンガなどの新しいパーティゲームやおままごとセットなどを購入し、子ども･幼児連れの子育て世代のニーズに柔軟に対応します。高齢者ならではの特技を活かした竹とんぼや凧作りなど人気の高い「ものづくり」教室を通した世代間交流事業を継続的に企画し地域の大人が子供たちに気軽に声をかけている地域コミュニティの醸成に寄与していきます。

栄区の高齢化率が横浜市のなかで最高にもかかわらず介護･支援を必要する高齢者の割合が最も低いという「高齢社会の明るい希望」を維持していくために、介護予防の活動にも力を注いでいきます。

今後、高齢者の方が子どもたちと同じように気軽に立ち寄れる場とするために現在まで利用されていない裏の緑地で高齢者の知恵と技を活かした「コミュニティガーデン」づくりに取組みます。

＊利用し易い施設への見直し・改善

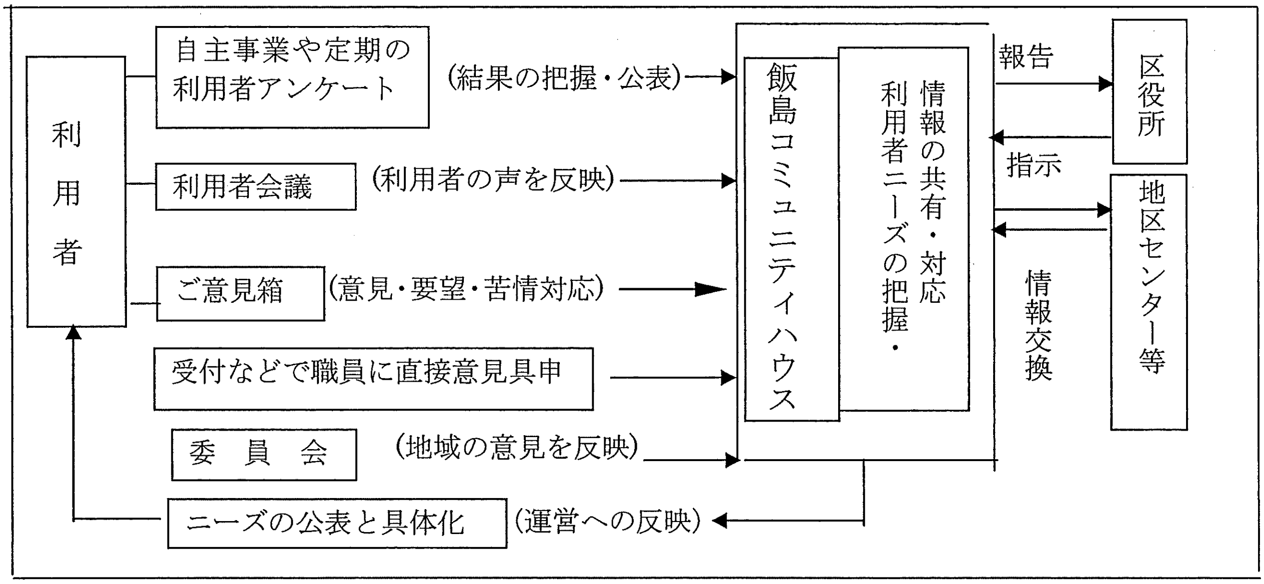
集会室をより多くの方に利用していただけるように平日３コマの利用時間帯について、その実利用時間を把握することにより、１コマに複数の団体利用が可能となるようなきめ細かな利用調整を実行します。また、夏季の繁忙対策として、ロビーの座席数を臨時に増設します。

＊運営目標

利用者数　24,9 00 人（平成２４年度実績 24,631×1.01％）
稼働率　69.0％（平成２４年度実績 68.3％×1.01％）

(2)　施設の運営計画
ウ　利用者ニーズの把握と運営への反映
エ　利用者サービス向上の取組

ウ　利用者ニーズの把握と運営への反映
＊あらゆる機会を捉えてニーズを把握し、検討して運営に反映・実現させていきます。（下図の通り）



利用者サービス向上の取組
＊館長が中心となって、常に窓口で適切な対応ができるような指導体制をとります。
職員は受付カウンターで利用者からの声に親切に対応できるようにします。
＊利用者の相談内容によっては、他の区民利用施設や区民活動センター「ぷらっと栄」を紹介するなど、できる限り利用者の意向に沿う助言をするよう心がけます。
＊地域住民の自主的活動を支援するため、自主事業への参加を促進するとともに、専門的知識や支援協会が運営する９施設の密接な情報網を活かして、自主活動グループづくりの相談・情報提供も積極的に行います。
＊情報提供・広報の場として、広報よこはま「さかえ区版」や区・当コミュニティハウスホームページ、ケーブルテレビ「JCN よこはま」や地域情報誌「タウンニュース」「はまかぜ」などを活用して、施設利用案内や自主事業等の情報を提供し、利用者が参加の機会を得やすいよう配慮します。
＊施設や備品についても利用者が快適に利用できるよう整備・保管に努めます。
小破修繕等は可能な限り速やかに職員による直営作業で対応し、経費節減と併せて利用者の利便性を高めます。

（3） 自主事業計画

【自主事業の考え方】

コミュニティハウスは、生涯学習や地域活動など幅広い分野に利用できる施設です。そこでは地域の幼児から高齢の方々までが、サークル、趣味活動やレクリエーションなどの活動を自主的に行い、相互交流を深めることができるなど、地域コミュニティの形成・促進を支援することを目的としています。自主事業はこの目的に沿うように計画します。

【自主事業の計画立案にあたって】

計画立案にあたっては、委員会での意見や現在活動しているサークル等の意見を取り入れるなどして、地域のニーズを十分把握して実施します。また、受講者からの要望を把握したり、「利用者の声」箱を利用したりして、幅広く利用者の要望をつかんで自主事業に反映させます。併せて、地元採用という職員の人脈を生かして、地域に講師を求め発掘するというニーズ把握力・事業企画力を高めて目的が遂行できる事業を展開してまいります。

【特徴や独自性】

＊平成23年度の事業実績として、幼児から高齢者までの広い年代層を対象に、趣味、子ども、世代間交流といった多くの分野で6コースの事業を実施しました。延参加人数は７９人でした。今後の計画においても、竹とんぼや凧やクリスマスドアベルの作製など人気の高かった「ものづくり」教室を中心に多世代が一緒にものを作ることを通して世代間交流が巧まずに実現できる事業を展開し、更なる地域コミュニティ団体、グループ等の形成を図り、地域交流の推進・充実に貢献します。

＊飯島コミュニティハウスの独自性は、子ども・世代間交流という分野に重きを置いていることです。これは、未就学児が地域住民とのふれあう機会を多くするためです。少子高齢化の進展するなか、戸建て住宅地における高齢者世帯の増加と大規模な集合住宅の核家族世帯の子どもたちが増えています。地域コミュニティの醸成を図る観点から、居住形態の違いから普段は接することの少ない高齢者と子どもたちが「ものづくり」を通して遭遇し、外で出会った時に挨拶や声をかける関係が拡がっていきます。

また、囲碁将棋教室については、利用団体の方がボランティアで指導を買って出て、初心者向けに指導をおこないます。

＊　坂の上に立地する飯島コミュニティハウスは高齢者の足がのきがちです。毎日のように「遊び」に来る子どもたちのように高齢者が日々気軽に立ち寄る施設とするために、今まで活用されていなかった庭を地域の高齢者と協働で四季折々の花が楽しめる「コミュニティガーデン」作りに取り組んでいきます。

【実現性】

＊集会室の稼動率が向上していくなか、定例的な一般利用を阻害しないように、空いている時期・時間帯を調整しながら実施していきます。

これまでの経験を生かし、人気の高い事業、実現性の高いものを企画していきます。広報にも力を入れ、館内外のポスター掲示とともに、当センターHPや栄区役所HP「さかえ情報お届け便」、「タウンニュース」「ケーブルテレビ」を十分活用して周知に努めます。

（様式4）

自主事業別計画書【平成２６年度】

施設名　飯島コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ものづくり教室	地元で身近にあるどんぐりなどの木の実などを材料に自由に工作を行う教室、 ・どんぐり・木の実クラフト ・切り紙と折り紙で季節感あふれた花・昆虫・クリスマスの飾りづくり ・クリスマス人形つくり	 ８月　２回 四季　各４回 １２月　１回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
雨の日もたのしく	雨で外で遊べない日は飯島コミハの空いている集会室で思いきりからだを動かして遊ぶ ・おととっと（スラックライン）、風船バレー	 年間　１０回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
太極拳	ヨガとともに健康法として地域で定着している太極拳に親しむ機会を提供することによって新しいつながりを拡げていきます。 ・太極拳	 ９～３月　１０回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つくって遊ぼう	四季にあわせ季節感と新鮮な工夫あふれるものづくりで豊かな感性を育む ・風鈴・雨が降ってきた ・らっぱ（帽子にもなる）・たいこどんどん	 ７～８月　２回 ９～１１，１回

自主事業別計画書 【平成２６年度】

施設名　飯島コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で楽しむ	季節にあわせて未就学児の親子や小学生が楽しく過ごせるひとときを提供する ・ひな人形をつくろう（木の枝や毛糸など身近な材料で） ・親子でかみしばいを楽しむ	 ２月　１回 12月　１回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成26年度

収　支　予　算　書

横浜市飯島コミュニティハウス

特定非営利活動法人
さかえ区民活動支援協会

（様式10）
平成26年度

飯島コミュニティハウス収支予算書

収入の部 （単位：円）

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C−D)	説明
指定管理料	12,591,000				0	横浜市より
利用料金収入	0					
自主事業収入	10,000				0	自主事業参加費
雑入	184,000	0	0	0	0	
印刷代	82,000				0	印刷、コピー代
自動販売機手数料	102,000				0	売上手数料
その他（　　　）	0				0	
その他（　　　）	0				0	
その他（　　　）	0				0	
収入合計	12,785,000			0	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C−D)	説明
人件費	6,889,000	0	0	0	0	
給与・賃金	6,172,000				0	職員給与、スタッフ賃金
社会保険料	527,000				0	社保、労保
通勤手当	160,000				0	
健康診断費	24,000				0	
勤労者福祉共済掛金	6,000				0	ハマふれんど掛金
事務費	939,000	0	0	0	0	
旅費	10,000				0	出張交通費
消耗品費	470,000				0	ﾄｲﾚｯﾄｰﾊﾟｰﾊﾟｰ等
会議賄費	10,000				0	お茶代
印刷製本費	10,000				0	封筒、申込書類
通信費	185,000				0	電話料等
使用料及び賃借料	0				0	
備品購入費	154,000				0	
図書購入費	20,000				0	利用者用図書
施設賠償責任保険	10,000				0	年間保険料
職員等研修費	10,000				0	
振込手数料	10,000				0	
リース料	0				0	印刷機、コピー機
手数料	20,000				0	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ更新料等
その他	30,000				0	慶弔費等
	0				0	
事業費	319,000	0	0	0	0	
自主事業費	319,000				0	
	0				0	
管理費	3,791,000	0	0	0	0	
光熱水費	915,000	0	0	0	0	
電気料金	771,000				0	
ガス料金	0				0	
水道料金	144,000				0	
清掃費	567,000				0	
修繕費	211,000				0	
機械警備費	531,000				0	
設備保全費	1,567,000	0	0	0	0	
空調衛生設備保守	475,000				0	
消防設備保守	119,000				0	
電気設備保守	298,000				0	
害虫駆除清掃保守	53,000				0	
その他保全費	622,000				0	
共益費	0				0	
公租公課	350,000				0	
事務経費	497,000				0	
ニーズ対応費	0					
支出合計	12,785,000	0	0	0	0	

差引	0	0	0	0	0	

※今年度のみ第三者評価受審費用として21万円をその他保全費に計上した。そのため修繕費を減額した。